

ブラザーグループのCSR

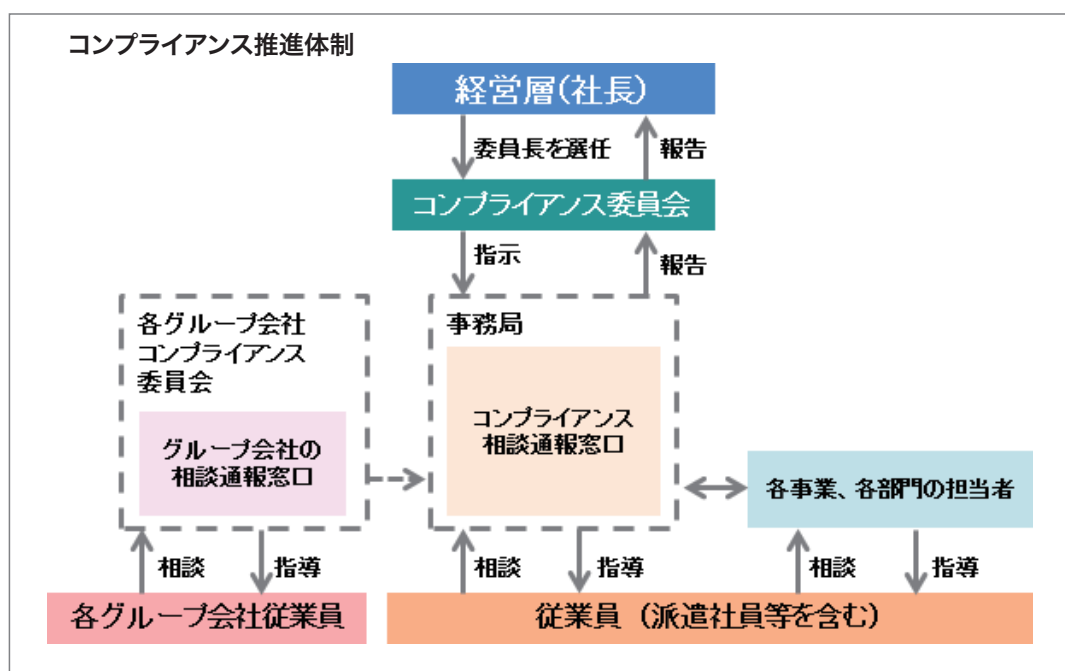
コンプライアンス

コンプライアンス体制

CSR経営の基盤として法令・倫理の順守を徹底

ブラザーグループは、コンプライアンス(法令・倫理の順守)がCSR経営の基盤を支え、さまざまなリスクを回避する上で不可欠なものであると考えています。グループ全体でコンプライアンスを徹底するために、「ブラザーグループ グローバル憲章」の行動規範のひとつである「順法精神・倫理観」および、企業としての責任を明確に定義し行動していくための「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」に基づいて従業員の行動基準を定めています。また、コンプライアンス委員会を設置し、相談通報窓口(ヘルプライン)を設けて不祥事の未然防止や早期対応、再発防止に努めています。海外を含むグループ各社でも個別にコンプライアンス委員会、通報窓口を設置して対応しています。また、重要案件については、グループ各社のコンプライアンス委員会だけでなく、ブラザー工業のコンプライアンス委員会にも通知され、グループ一体となってコンプライアンスリスクへ対応する体制を築いています。

ブラザーグループは、これからもグローバルな展開を視野に入れて、引き続き活動を続けていきます。



ブラザーグループのCSR

コンプライアンス

グループ従業員の意識向上に向けて活動を強化

研修・ハンドブックなどでの啓発活動と、コンプライアンス体制の維持向上

ブラザーグループは、従業員のコンプライアンス・倫理意識の向上を目的に、「コンプライアンスハンドブック」を発行し、国内グループ会社の従業員に配布しています。

このハンドブックは、「ブラザーグループ グローバル憲章」に基づくコンプライアンス行動基準、具体事例集に加え、クイズ形式による学習項目に多くのページを割き、従業員が自ら学ぶことができる内容になっています。さらに、日々の行動で迷うようなことが起きた場合には、自らの行動をチェックできるコンプライアンス・カードを国内外グループ会社を含めた従業員に配布しています。

教育啓発活動としては、各種集合研修(新入社員研修、定期開催の基礎研修、海外赴任前研修など)や、e-ラーニングシステムによるオンライン研修を実施しています。また、従業員がより安心して相談できるように、外部相談窓口を設置しています。

さらに、コンプライアンス体制のグローバル展開として、中国、ベトナム、フィリピンなどの生産拠点でのコンプライアンス体制の整備状況や教育状況について再確認を行い、その結果に基づき教育啓発活動の強化を図るなど、グループとして適正なコンプライアンス体制の維持向上に努めています。

他にも、近年の法規制の動向を踏まえ、各国の贈収賄防止法や独占禁止法等のコンプライアンス順守のために、法令の調査やグループ各社への教育啓発に努めています。

ブラザーグループは、これからも「ブラザーグループ グローバル憲章」および、「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」に基づいて、グローバル視点でのコンプライアンス体制および教育を強化し、企業不祥事の未然防止や倫理意識のいっそうの向上に取り組んでいきます。体制および教育を強化し、企業不祥事の未然防止や倫理意識のいっそうの向上に取り組みます。



コンプライアンス集合研修風景